

令和5年度事業報告書
(令和5年4月～令和6年3月)

I 研究事業

A. 研究事業

a-1. 企画研究

以下1件の企画研究の実施を決定し、研究費を支給した。

テーマ	担当	研究費支給額
菊地三郎翁研究	堀中 浩 木村実季 長江文清	246,940 円

a-2. 個別研究

以下2件の個別研究に対して研究費を支給した。

テーマ	担当	研究費支給額
内山嘉吉を主にした内山書店と日中関係について	齊藤孝治	240,000 円
蒙古同好会の創設について	横田素子	120,000 円
布引丸事件の研究	木村実季	25,920 円
台湾解放の父鄭成功をめぐる様々な動きについての考察	河合雅子	120,000 円

B. 研究会、講演会等の開催

「中日文化研究会第5回研究会」として行われた、草創期中日文化研究所に関連した資料の調査活動（2024年2月16日・17日実施）に参加、協力した。

C. 所報、その他出版物の刊行

c-1. 紀要『中日文化研究所論文集第11号』を刊行した。

掲載原稿のタイトルは以下の通り。

(論文)

「1922年蒙古同好会設立に関する基礎研究<其の1>」 横田素子

(論考)

「王瑩の米国時代—栄誉と受難」 岡崎雄兒

「郭沫若の恩師 小野寺直助一族 流浪とその背景について
憎き秀吉と政宗、家康」 齊藤孝治

(研究ノート)

「『與孫〇〇書』のテキスト比較
—『二六新報』掲載時とその後のテキストの異動を中心に—」
木村実季

(資料紹介)

「『梅屋庄吉関係文書』収蔵中村彌六書簡
—布引丸事件を背景とした両者の関係」 円谷裕美子

c-2. 所報『中日文化研究第11号』を刊行した。

掲載原稿のタイトルは以下の通り。

「対談 内山嘉吉を主にした内山書店と日中関係について（中）」

内山 籬・齊藤孝治・河合雅子

「内山書店香港中文大学（深圳）店開設とその背景（上）」

齊藤孝治

「アジア・アフリカ文化財団時代の菊地三郎（一）」

堀中 浩

エッセイ「沙飛の写真－草創期の中文研資料について」

木村実季・長江文清

「台南・鄭成功開台祭と平戸・鄭成功生誕祭探訪記」

河合雅子

シンポジウム「戦後上海における対日情報戦のグレーゾーン

－『改造日報』を中心として－」 高綱博文・趙夢雲・渡邊ルリ・陳童君

c-3. DVD映像資料を図書館など教育機関等に販売した。

制作作品：『北京の食文化Ⅱ』

『永遠のモダンを庭園に－闇夜につぶてを投げる人・重森三玲』など。

II その他の事業

茨城県美浦村に所有する不動産の賃貸

公益財団法人アジア・アフリカ文化財団に対して賃貸した。

III その他

公益目的支出計画の完了予定年月日の変更（令和6年3月31日から令和9年3月31日に変更）が内閣府によって認可された。

以上

令和5年度 事業報告の附属明細書

「事業報告の内容を補足する重要な事項」の該当なし。